



アインズ様  
寢室

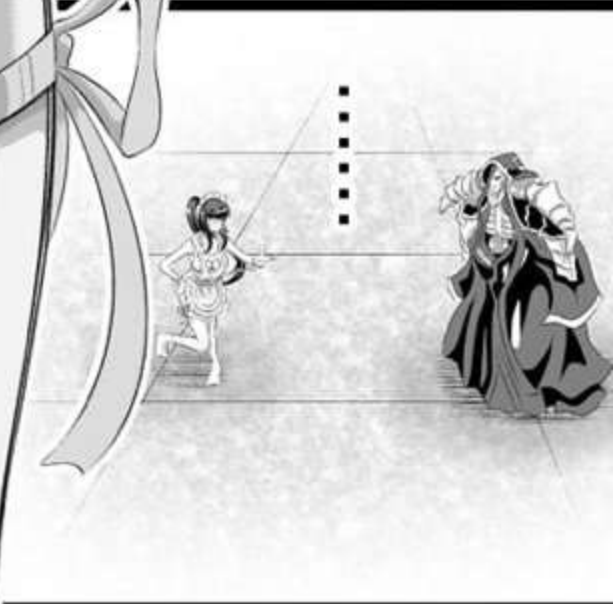
おっ…  
お帰りなさいませ  
アインズ様

ご飯にしますか？

お風呂にしますか？

それとも

わたし♡





本日は  
アインズ様に

お願いしたい  
儀が御座います



まあ想像は  
つくが...

何だ



何故そのような  
格好で  
待っていた

申してみよ

っは  
はいっ!!



で

ぷる  
ぷる



そっそれは  
このような  
願いをするときは  
これが正装だと

アルベド様が

あの  
アマ



まさかカーベラルが  
一番か

アウラの話から  
フレアデスの誰かが  
来るとは  
思っていたが...



して  
その格好は?



御身に

御身に寵愛を  
賜りたく  
存じます



お傍に  
仕えさせて頂く  
無上の栄に浴し尚

しかし此度は  
あの時の褒美として  
頂きたく！

何も褒美はいらぬ？  
配下の無欲は――

ああ  
とにかく何も無い駄目だ  
何か考えておけ

何でもござぞ

このパターンは  
前にも――



あの時――



成長して  
いるんだな

だが――

ナーベラルよ

はっ……はい



しかし――  
それでも昔だったら  
何も褒美を  
望まなかっただろう

それが  
真面目なナーベラルが  
自分の口で  
言いに来るとは



違います  
――！！

お前たちの忠義は十分  
伝わっているし  
愛するお前たちに  
そのようなことを  
無理強いするつもりは――



無理にそのような  
ことをしなくても  
いいのだぞ？

はっ？  
はっ？

確かに私は  
アルベトとシャルティア

そしてアウラとも  
関係を持った

しかし  
ナザリツクの者すべてが  
そうしなくては  
いけないわけではない



触れた  
温もり

御身とともに  
居た時間



ですが



残ってくださった  
恩義もあります



至高の恩方への  
崇拝もあります



お慕いして  
いるのです

アインズ様

ただ  
あなたを



芽生えた  
この想いは

義務感などでは  
ありません



御身が  
謝るようなことは  
何も



俺は馬鹿だな

ナレバ  
すまなかつたな



彼女たちは  
もうNPCではない





あ...ああ  
見ないでください  
見ないで...

今更何を言う

そのような  
所を  
御身がっ

お前の身は  
すべて私のもの  
...だろう

ほぐしがいの  
ありそうな  
アナルだ

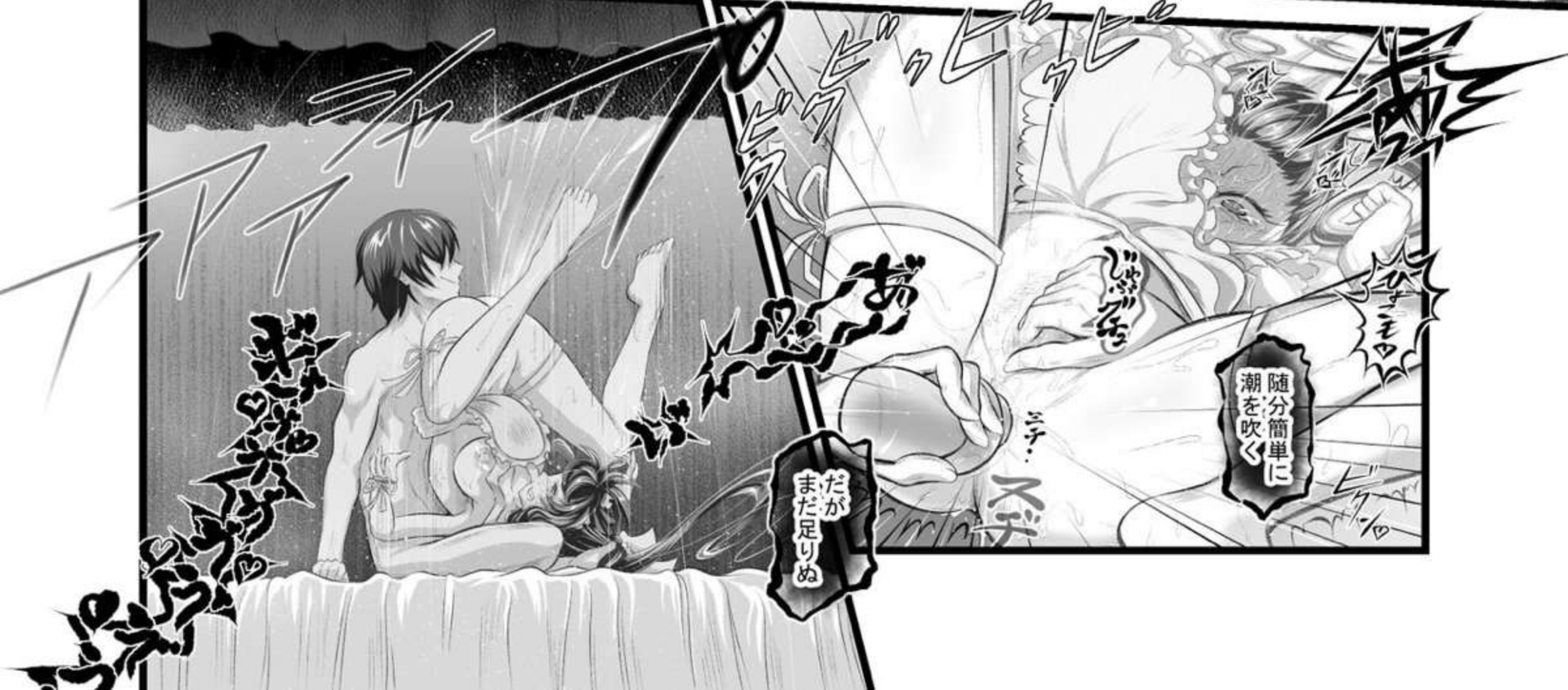
上位道具創造

アナルバインツ  
肛瘻張形

あっああああ



あ



随分簡単に  
潮を吹く

だが  
まだ足りぬ

あ



ほう

次は私が  
御身に快樂をば  
奉りたく

ア…アインズ様

カ  
ツ  
ツ



もう精魂  
尽きたか？

どうした

ガ  
バ  
ッ  
い  
え  
う



派手に  
達したな



ふむ…  
中々の  
悦楽よ

アルベド様より  
ご教授賜った  
この紅葉合わせで！

アインズ様の…  
愛おしい♡

ニ  
ヤ  
ル



だが



足りぬ

喉の最奥で  
受け止めよ





では次は  
本番だ

苦しいか？

ゴホ  
ゴホッ

はえ？

い...いえ

御身の聖液  
有難く



最奥まで  
貫いて  
やろう

休んでいる  
暇などない



挿れただけで  
この様か



あれほど  
蔑んだ人間に  
扱られるのは  
どんな気持ちだ？



今私は  
人間の姿だが



アツ  
アインズ様は

アツ

別で  
しよう...

ククク  
都合のいい  
女だ

なあつ

かかかかかかかかかか

かか  
かか

ギョ

ギョ

バツ

そろそろ  
子種を  
くれてやろう







